

一世界広布と創価学会②日顕宗を破す

問1 悪と戦う意義を踏まえて、次の文章を完成させなさい。

御書に「如かず彼の万祈を修せんよりは此の(1)を禁ぜんには」「いかなる(2)をつくり法華経を千万部読み書写し一念三千の観道を得たる人なりとも(3)をだにも・せめざれば(4)ありがたし」とあるように、仏法を正しく実践するうえで重要なことは、成仏を妨げる悪縁となる一凶と戦い抜くことです。悪を責めなければ成仏はないとの確固たる断言です。
現代における一凶とは(5)にはかなりません。

ア、大善 イ、法華経の敵 ウ、得道 エ、日顕宗 オ、一凶

問2 宗門事件の経過を踏まえて、後の語群から言葉を選んで次の文章を完成させなさい。

大聖人の広宣流布の精神と実践は第二祖(6)に正しく継承されました。

しかし時代を経る毎に形骸化し、葬式仏教と化していき、創価学会創立時には日蓮正宗宗門は法滅状態でした。日顕が法主になって以来、さらに仏法破壊が進み、創価学会と池田先生への嫉妬から学会破壊を目論み始めました。

平成2年、日顕は創価学会を切り捨てて一部の会員信徒を宗門側に隷属させるために「創価学会分離作戦」を企てました。彼らはこの陰謀を(7)と呼びました。

ア、C作戦 イ、A作戦 ウ、日興上人 エ、釈尊

問3 日顕宗の大罪と邪義について、文証を挙げて破折した文章です。語群から言葉を選んで文章を完成させなさい。

① 広布破壊の謗法

「大願とは(8)なり」「(9)の大願」とあるように広宣流布は(10)の御遺命である。

しかし日顕宗は広宣流布をすすめる(11)を破壊しようとして(12)を企てた。これは広宣流布破壊であり、一切衆生の救済を目指した宗祖(13)の心に背く大罪である。

ア、創価学会 イ、日蓮大聖人 ウ、C作戦 エ、広宣流布 オ、法華弘通

② 法主信仰の邪義

日顕宗は「法主は絶対である」「法主も信仰の対象である」と主張するが、そのようなことは大聖人の(14)のどこにも書かれていない。それどころか「時の貴首(かみ)か(かみ)を為りと雖も(15)に相違して(16)を構えば之を用う可からざる事」と厳しく戒められている。

法主絶対論を主張する日顕宗は、邪宗教そのものである。

ア、仏法 イ、己義 ウ、法華経 エ、世法 オ、御書

③ 誤った血脈観

日顕宗は法主相承を受けるだけで仏の悟りを得るといふ神秘的血脈観を主張するが、大聖人は「日本国の（ 17 ）に法華経を信ぜしめて仏に成る（ 18 ）を継がしめん」と、血脈とは正しい（ 19 ）のことであると明言されている。さらに「（ 20 ）の血脈なくんば法華経を持つとも無益なり」と喝破されている。広宣流布を推進する創価学会を迫害する日顕宗に、信心の血脈は存在しない。

ア、血脈 イ、信心 ウ、相承 エ、一切衆生 オ、宗門

④ 僧俗差別

日顕宗は「僧侶が上で在家は下」と主張するが、大聖人は「（ 21 ）は嫌うべからず」と、一切衆生は平等であると明言されている。僧俗を差別することは万人がもっている仏性の否定であり、仏法の本質を見失っている。

ア、僧侶 イ、男女僧尼 ウ、庶民

⑤ 化儀の悪用

日顕宗は成仏するためには戒名や塔婆、僧侶による葬儀などが必要と主張するが、大聖人は「過去の慈父尊霊は存生に（ 22 ）と唱えしかば即身（ 23 ）の人なり」と、成仏は生前の（ 24 ）の実践によると明言されている。僧侶が不可欠などと邪義を構えること自体が仏法破壊である。

ア、南無妙法蓮華経 イ、成仏 ウ、信心 エ、供養 オ、加持祈禱

⑥ 腐敗墮落

豪遊など腐敗墮落した日顕をはじめとする日顕宗僧侶は、大聖人が「（ 25 ）の皮を着たる畜生」（ 26 ）がき」と厳しく戒めた悪僧の姿そのものである。

ア、食法 イ、法師 ウ、地獄 エ、人間